

文字摺通信

第97号

2025年10月 1日

発行:文字摺歴史文化社

近世城跡は今…？国史跡、公園

県民・市民の学びの場、憩いの場になっているかな？

右の地図は鈴木啓先生の労作、福島城の地図に現在（啓先生存命の頃）の県庁周辺地図を重ね合わせた複合図です。

福島城は南側に阿武隈川が流れ、天然の大堀となつてお城は削られ、本丸部分は藩主居住部兼政庁を作ることができず、二の丸に御殿をつくり、藩庁としました。

殿中に南接する紅葉山

公園は二の丸御外庭で、藩庁である殿中は、外来駐車場。御靈社があった本丸は、知事公館と福島県警察本部があるところです。よく、福島県庁は福島城跡と言われるため（それはまちがいではないのですが）、本庁舎のところが本丸だと勘違いされます。西二の丸は本庁舎と西庁舎・北庁舎の敷地となつており、北二の丸は駐車場、北東二の丸は東庁舎の所（ここに戦前は女子師範学校がありました）です。大手門があったのは旧第一幼稚園の東側でした。

こうして見ると、旧福島城跡地は、ほとんどが県庁と県警本部とその駐車場、第一小学校校庭になっていることがわかります。コンクリートで固められているのです。ですから、石川啄木の歌「不來方のお城の芝に寝ころびて、空に吸われし、十五の心」のように、寝ころびて、詠うこともできません。

